

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期むつ市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県むつ市

3 地域再生計画の区域

青森県むつ市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の総人口は、1985（昭和 60）年に 71,857 人でピークを迎え、その後、一貫して減少し、2015（平成 27）年には 58,493 人、2020（令和 2）年には 54,103 人と減少の一途をたどっています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所によると、2050（令和 32）年には 30,531 人にまで減少すると推計されております。

高齢化も進行しており、年少人口、生産年齢人口及び老年人口の3区分による年齢3区分別人口は、2020（令和 2）年時点では年少人口 5,714 人、生産年齢人口 29,283 人、老年人口 18,249 人となっており、特に年少人口及び生産年齢人口の減少割合は大きく、推計では 2050（令和 32）年には 2020（令和 2）年の半数以上減少するとされています。（年少人口：65.6%減、生産年齢人口：55.6%減）

また、自然増減及び社会増減の推移をみると、2001（平成 13）年まではおおむね自然増・社会減、2002（平成 14）年以降は自然減・社会減で推移していたものの、2004 年以降は自然減による人口減少が 100 人と減少数が徐々に多くなり、2017（平成 29）年には 424 人の自然減となっています。これは、出生数を上回る老年人口の増加に伴う死亡数の増加によるところが大きいと考えられます。一方、社会動態による人口減少は 2003～2008（平成 15～20）年で 400 人を超えており、特に総人口の減少数がおよそ 800 人を超える 2004～2007（平成 16～19）年は、社会減が 570～773 人と突出しています。その後、2009～2010（平成 21～22）年では社会減による人口流出が一旦落ち着いたものの、2011（平成 23）年以降は 300 人を超え、2017（平成

29) 年には 616 人と再び減少幅が大きくなる傾向にあります。

今後も人口減少及び高齢化が進行していくと推計されていますが、人口減少は、高齢化の進行も相まって、消費や経済力の低下を招き、今後の経済・地域社会や市民一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼすという悪循環が連鎖するとされています。

これらの課題に対応するため、地域の特性を活かした産業の創出や「下北ジオパーク」を活用した取組を推進し、積極的なシティプロモーションの実施等による「交流人口」や「定住人口」の拡大はもちろんのこと、地域と多様に関わる「関係人口」にも着目しながら、県内外の高等教育機関と連携等による地域の人材育成に努めます。また、若い世代が出会い、結婚し、安心して子どもを産み育てることができるための一連の流れを生み出すべく、様々なライフステージに対応できる切れ目のない支援を実施するとともに、新たな行政の形として、自治体DXを推進し、専門的で高度な行政サービスを提供することができる行財政基盤の強化充実を図り、行政や市民、事業者も一体となってデジタル化に対応した地域づくりを目指します。

ほか、コンパクト・プラス・ネットワークの形成を図りながら、地域が一体となって、防災・保健・医療・福祉の充実に取り組み、誰もが誇りと夢や希望を抱いて暮らすことができる魅力あるまちの実現を図ります。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げます。

- ・基本目標 1 活力あるむつ市の創生
- ・基本目標 2 教育・子育て環境の向上
- ・基本目標 3 高齢者福祉・医療・暮らしの充実
- ・基本目標 4 デジタル化の推進
- ・基本目標 5 危機管理・防災力の向上

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	人口減少の抑制	54,103人	49,294人以上	基本目標 1
ア	誘致企業数(累計)	13社	13社	基本目標 1

ア	年間観光入込客数	866,587人	1,000,000人	基本目標 1
イ	教科に関する調査 (全国学力・学習状況調査)	全国 (小6) : 64.85 むつ市 (小6) : 61.50 (※R5国語、算数平均値) 全国 (中3) : 60.40 むつ市 (中3) : 55.50 (※R5国語、数学平均値)	全ての教科において全国平均値を3ポイント上回る	基本目標 2
イ	夢や目標の肯定的回答率 (全国学力・学習状況調査)	全国 (小6) : 81.5 むつ市 (小6) : 84.8 (※R5回答) 全国 (中3) : 66.3 むつ市 (中3) : 74.9 (※R5回答)	全国平均値を6ポイント上回る	基本目標 2
イ	子育てに自信が持てない母親の割合 (1歳6か月児)	16.8% (R5年度)	14.5%	基本目標 2
ウ	3大疾病死亡率 (人口10万人当たり)	<悪性新生物 (がん)> 青森県 : 421.7人 (R4年) むつ市 : 410.4人 (R4年) <心疾患> 青森県 : 246.7人 (R4年) むつ市 : 226.3人 (R4年) <脳血管疾患> 青森県 : 124.0人 (R4年) むつ市 : 122.7人 (R4年)	県平均を下回る	基本目標 3
ウ	下北半島縦貫道路整備率	41.3% (R5年度)	60%	基本目標 3
エ	デジタル化による市民生活満足度 (well-being)	3.1点 (R5年度)	3.5点 (5点満点中)	基本目標 4

エ	マイナンバーカード普及率	78.4% (R5年度)	70.0%	基本目標 4
オ	自主防災組織における世帯カバー率	29.2% (R5年度)	55.4%	基本目標 5
オ	水道基幹管路耐震管率	38.7% (R5年度)	38.8%	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 「活力あるむつ市の創生」事業

イ 「教育・子育て環境の向上」事業

ウ 「高齢者福祉・医療・暮らしの充実」事業

エ 「デジタル化の推進」事業

オ 「危機管理・防災力の向上」事業

② 事業の内容

ア 「活力あるむつ市の創生」事業

地域資源を活かした経済の持続的成長とともに、積極的なシティプロモーションや雇用の安定と確保に努めることで、人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちづくりを目指す事業

【具体的な事業】

- ・ 1次産業の振興
- ・ 商工業の振興
- ・ 新たな産業の創出
- ・ 広域連携による観光プロモーション

等

イ 「教育・子育て環境の向上」事業

未来を担う子どもたちの夢や志の実現に向け、困難な状況においても主体的に、協働して乗り越えられるよう、子育て環境や教育環境の整備を推進し、市民の皆様の学習ニーズに応えられるよう、高等教育機関とも連携しながら学習機会を提供し、地域人材の育成に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・ 体育・健康教育の充実
- ・ 高等教育機関との連携 等

ウ 「高齢者福祉・医療・暮らしの充実」事業

福祉・医療機能や健康づくり環境が充実し、自然環境の保全や都市環境が整備され、誰もが心身ともに健やかで快適に暮らすことができるまちづくりを目指す事業

【具体的な事業】

- ・ 一人ひとりの健康づくりの推進
- ・ 健康まちづくりの推進 等

エ 「デジタル化の推進」事業

行政をはじめ、地域全体で DX を実践しながら、消費者ニーズを捉えた地域産業の生産性の向上や産業環境の整備を目指すとともに、デジタル技術やデータ、AI 等の活用により、業務の効率化を図ることで、さらなる行政サービスの向上を目指す事業

【具体的な事業】

- ・ 地域 DX の実践
- ・ 情報ネットワークの利活用の推進 等

オ 「危機管理・防災力の向上」事業

誰もが安全で安心して暮らせる毎日を実現するため、防災や消防に係る施設や設備等の整備を計画的に進めるとともに、市民一人ひとりの安心に対する意識の醸成を図り、地域全体で守る仕組みや体制づくりを目指す事業

【具体的な事業】

- ・ 防災対策の充実

・防犯対策の充実

等

※ なお、詳細はむつ市総合経営計画後期基本計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

720,000 千円（2025 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

効果の検証にあたっては、毎年度 8 月頃に産官学金で構成する「むつ市総合開発審議会」から随時意見を聴取し、市長を始め幹部職員で構成する庁議において、施策の効果的推進を図るとともに、定期的な取組内容の検証・改善を実施する。検証後速やかにむつ市公式ホームページにて公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで